



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)



公共工事と人材不足と財源と

問 市の公共工事全般について、現在の状況と傾向はどのようなものなのか。また、予算があっても翌年度への繰越しになる現状をどのように感じ、対応策は考えているか。

部長 令和6年度の入札案件は、9月末時点で101件あり、そのうち7件が不調で不調率は6.9%、全国平均不調率7.4%と比べても低い数値。当市においても、物価高騰や人材不足の予定価格超過や、参加者不在による不調等が発生しているが概ね計画通り実施している。入札不調の対策として、年度開始前の年間工事発注計画の公表、不調発生時の事業者への聞き取りなどを行っている。また、直近の見積書で積算を行い適正な予定価格を定めたり、人材不足を考慮し、技術者の資格要件の緩和を検討するな

ど、速やかに契約を締結できるよう努めている。

問 国でも建設業に対するDX推進をしているが、当市ではどのように考えているか。

部長 発注する市でも、建設業の皆様にもDXを推進していただきたいと考えている。

副市長 市では、契約関係や事業者との書類のやり取りなどDXを検討している。事業者が、市役所に何回も足を運ぶ時間を減らすことを含め、DXは県のほうが進んでいるため、最新の情報を聞き、市でも事務仕事の改善のためにDXを進めている。

廃止が決まっている市営住宅の今後を考える

問 大岩住宅の取り壊しの時期と、土地の活用。

部長 関係各課と協議中で、市で土地の利用がないときは売却も検討する。

問 栗倉住宅K棟とL棟の今後の展開は。

部長 入居者の転居が済み次第、解体し市営住宅専用駐車場として活用を検討する。



いわむら えみ
岩村 恵美
(無党派)



ワクチン接種の効果と検証

問 新型コロナウイルスワクチンの有効性はあったか。

病院長 基本的には有効性はあったと考えているが、若くて元気な方が新型コロナウイルスに感染しても、命まで危なくなることはないので、アレルギー体質や過去にワクチンで異常な副反応をした場合は、絶対打たないほうがいいですよ、という勧め方をしている。

問 この救済制度を申請してから認定までの期間は。

部長 実は新型コロナウイルス感染症以降、報道等によると30倍程度増え、現状では1年から1年半の期間を要している。

問 PCR検査も疑問に思っていて、発症もしていないのにPCR検査をすると陽性になる。

陽性の人数を数える必要性があったか。

病院長 PCR検査については、これはやはりあまりあてにならない。

問 2024年4月から、幼児の5種混合ワクチンがスタートしたが、幼児のワクチンがどんどん増え16種53回と打つ必要があるとお考えか。

病院長 それぞれの医師の意見によりかなり違うが、私は個人的には議員に賛成で、RSウイルスワクチンがあるが、普通にかかるのが当たり前の病気なのに、そこまでやる必要があるのかなと疑問には感じている。

意見 ワクチンや薬は100%安全なものではないということや、薬害は後から分かるということ、テレビやマスコミ、新聞報道がメリット、デメリット、リスクとベネフィットを正確に報道していないことも今回浮き彫りになった。

| | コロナワクチン以外の ワクチン全種類 (1977~2021) | インフルエンザ ワクチン (1977~2021) | コロナワクチン (2021~2024) |
|--------|--------------------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 被害認定総数 | 3,52 | 191 | 8,226 |
| 死亡認定 | 151 | 25 | 867 |
| 後遺障害認定 | 473 | 27 | 132 |